



プラスチックのマテリアルリサイクルにおける 樹脂添加剤の役割と取組事例

株式会社 A D E K A
樹脂添加剤開発研究所
添加剤開発室
2026.7.21

ADK CYCLOAID®

株式会社 A D E K A のご紹介

連結
従業員数 **5,453名**
単体
1,810名
(2025年3月末現在)

事業
**5つの
事業領域**

化学品事業(樹脂添加剤/半導体材料/
環境材料)、食品事業、ライフサイエンス事業

プラスチック
向け
樹脂添加剤
**業界シェア
No.2**

グループ会社

57社

Europe
欧州
グループ会社
6社

Asia
アジア
グループ会社
20社

North America
北米
グループ会社
5社

Africa
アフリカ
グループ会社
1社

Middle East
中東
グループ会社
1社

Japan
日本
グループ会社
19社

South America
南米
グループ会社
5社

連結子会社

36社

欧州・北米・南米・中東・アフリカ
26.3%

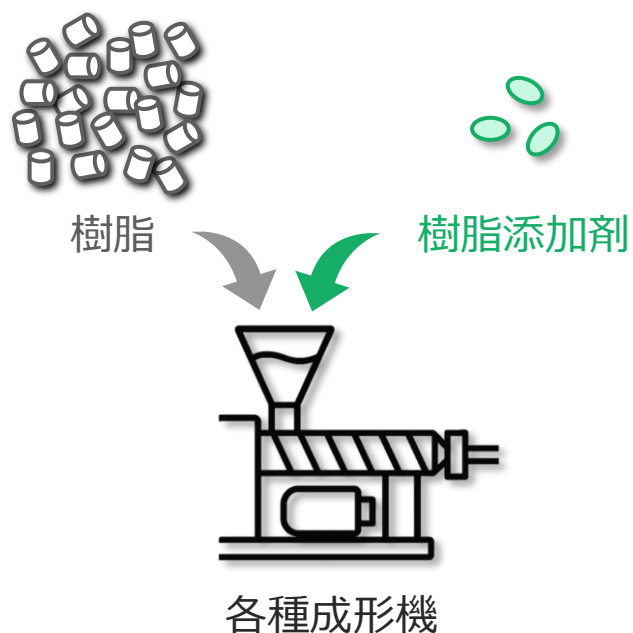
アジア
28.6%

日本
45.1%

2024年度
売上高
4,071億円

ADK CYCLOAID®

少量の添加で、プラスチックの安定性や各種物性を改良したり、新たな機能を付与することで、適用用途を拡大します

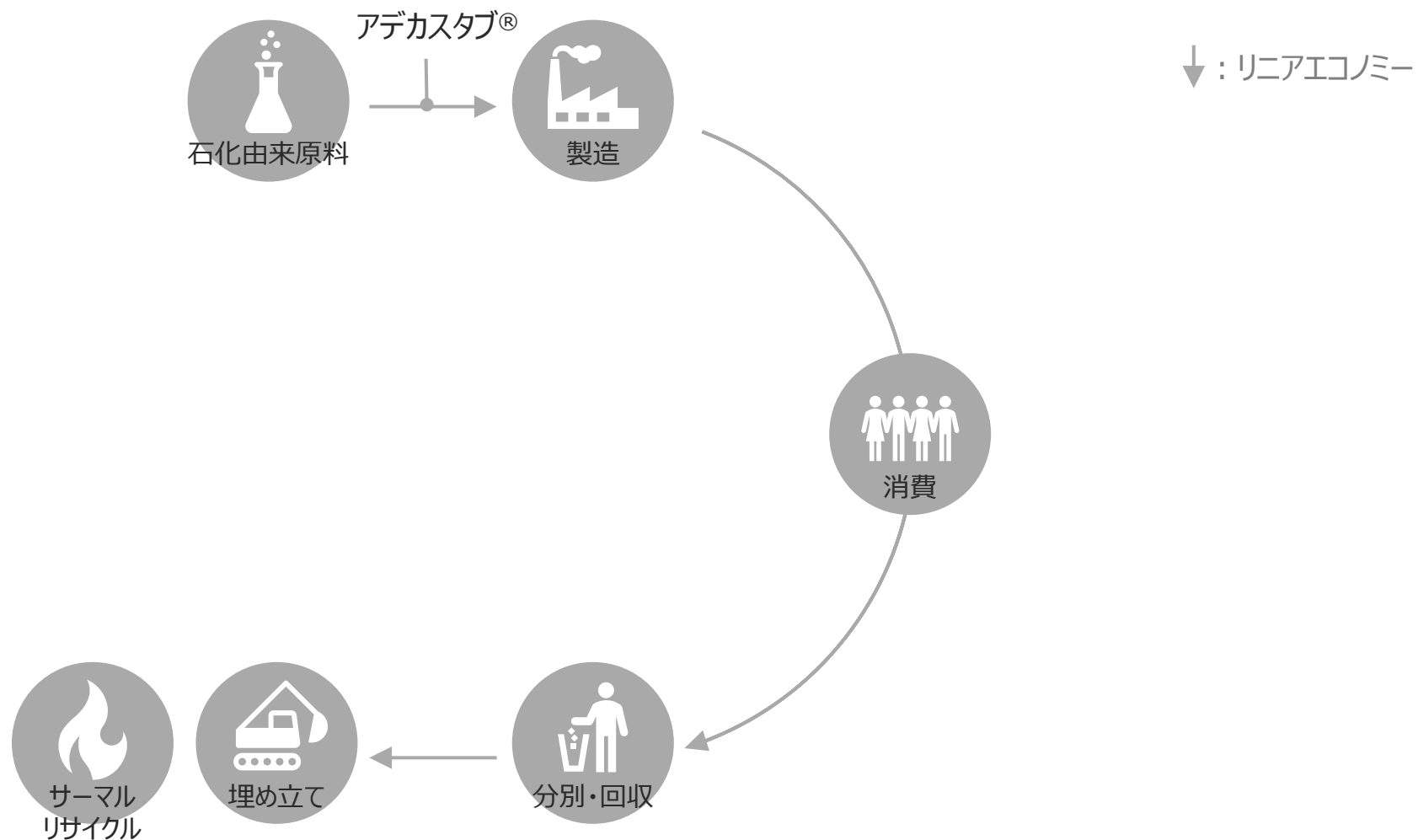


アデカスタブ® シリーズ

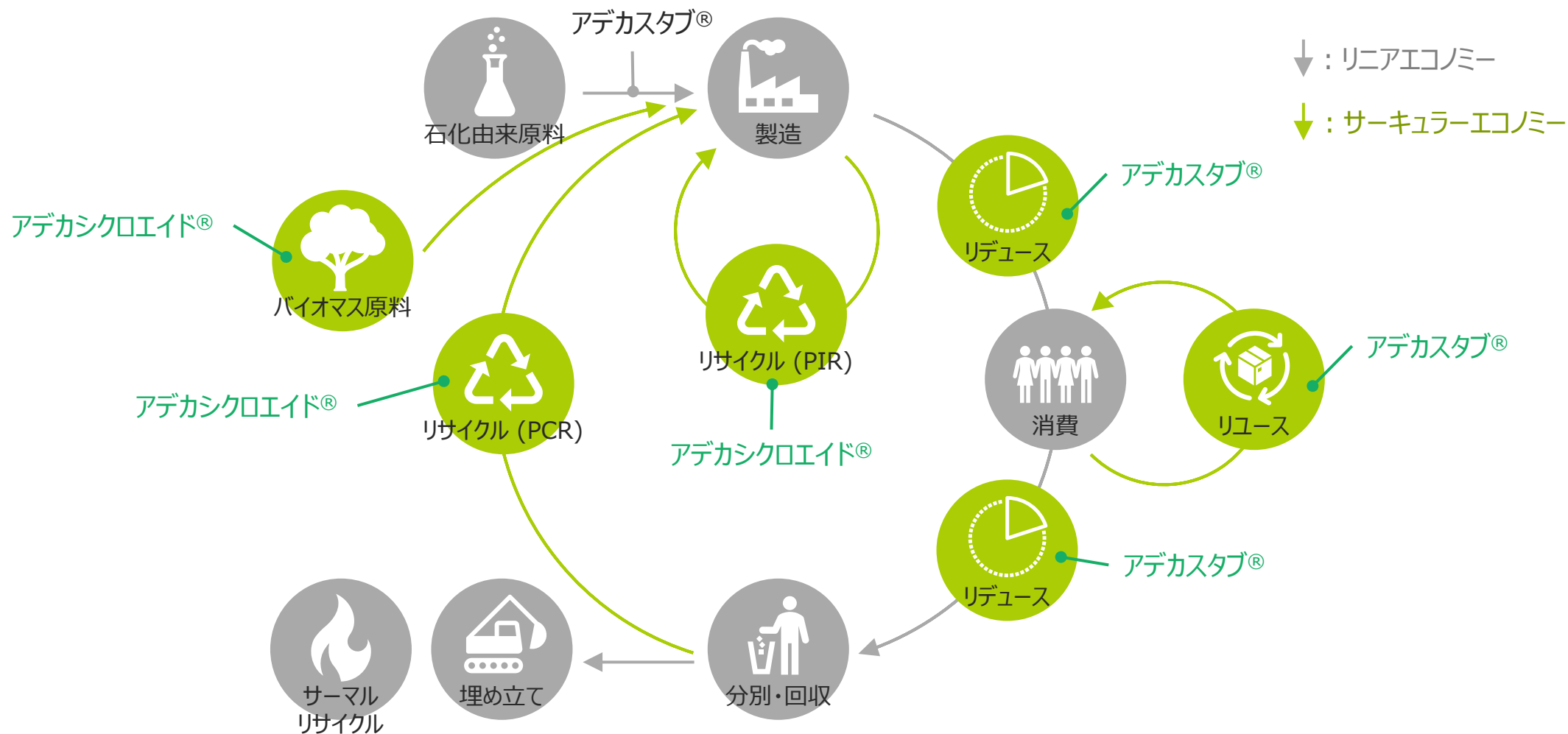
安定化	物性改良	機能付与
酸化防止剤 フェノール系 ホスファイト系 チオエーテル系	核剤 透明化剤	難燃剤 イントメッセント系 リン酸エステル系 NOアルキル系
光安定剤 紫外線吸収剤(UVA) HALS		永久帯電防止剤
重金属不活性化剤		可塑剤
塩ビ用安定剤		

高分子のサーキュラーエコノミー

私たちはアデカスタブ®とアデカシクロエイド®を通じて、高分子のサーキュラーエコノミーに貢献しています



私たちはアデカスタブ®とアデカシクロイド®を通じて、高分子のサーキュラーエコノミーに貢献しています



アデカシクロエイド® シリーズは、環境配慮型製品の発展に貢献する樹脂添加剤です

$$\begin{array}{ccccc} \text{CYCLO} & \times & \text{AID} & = & \text{アデカシクロエイド}^{\circledR} \\ \text{循環} & & \text{支援} & & \text{ADK CYCLOAID}^{\circledR} \end{array}$$

マテリアルリサイクル向け樹脂添加剤

- UPRシリーズ
- 石垣市の漂着ごみのアップサイクル

バイオマス由来樹脂添加剤

- Creating NEW from reNEWable materials
(難燃剤「FP-600I」に関するプロジェクト)
- 塩ビ用可塑剤

(ご参考) 参画団体

- クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA)
- 国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)
- デジタル駆動 超資源循環参加型社会 共創コンソーシアム (慶應義塾大学SFC研究所)
- 埼玉県サーキュラーエコノミー推進分科会

アデカシクロエイド® UPRシリーズは、リサイクル樹脂の各種性能を改良することで、適用用途拡大やリサイクル材比率向上が可能な添加剤パッケージです

グレード	改良性能	形状
UPR-001	熱安定性	粉 PEマスターバッチ
UPR-011	剛性 + 熱安定性	粉 PPマスターバッチ
UPR-021	耐候性 + 熱安定性	PPマスターバッチ

採用事例



コンセプトのご紹介▶

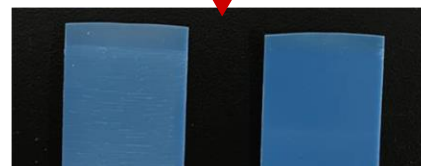


取組事例 | 石垣市の漂着ごみのアップサイクル

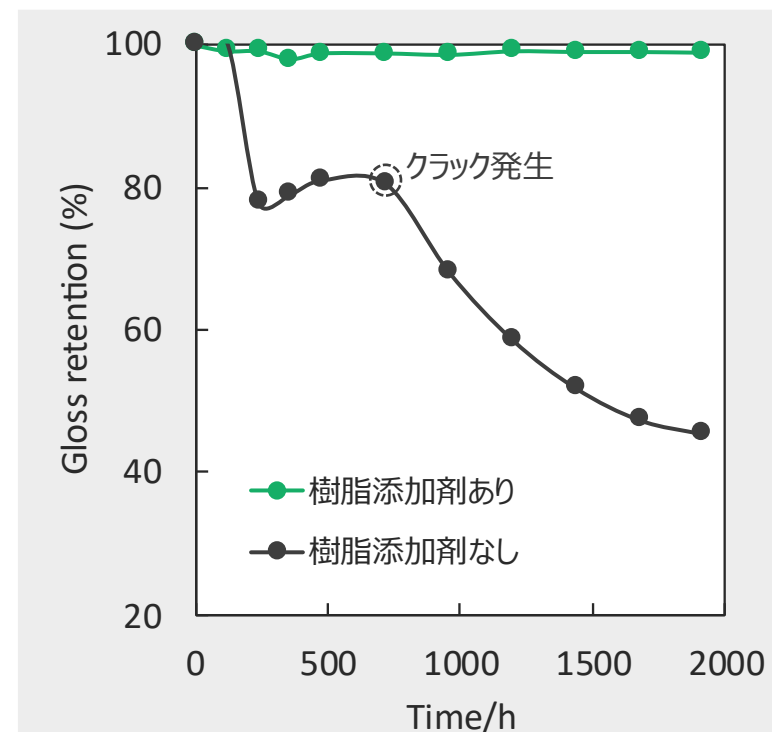
- 石垣市と連携協定を結ぶ大成建設株式会社および同市内の合同会社縄文企画と共創を開始
- 漂着ごみ中のペットボトルキャップで作製した成形品は、クラックや退色などの光劣化が短期間で生じる
- 樹脂添加剤により耐候性を大幅に改善でき、用途拡大が期待できる



取組事例の詳細 ▶



耐候性試験を行った試験片
左：添加剤なし 右：添加剤あり



耐候性試験の結果

当社の資源循環に向けた取り組みを推進するにあたり、多大なご協力を賜りました大成建設株式会社の佐藤大樹様および林俊光様に深く感謝申し上げます

あわせて、評価材料としてペットボトルキャップをご支援いただいた合同会社縄文企画の田中秀典様に厚く御礼申し上げます

当社の樹脂添加剤技術が、石垣市の漂着ごみ問題の解決の一助となれば幸いです